

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 大牟田市立勝立中学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒836-0886
福岡県大牟田市大字勝立282-2

E-mail : t-nishimine@st.city.omuta.fukuoka.jp

Website : _____

児童生徒数：男子 72 名 女子 68 名 合計 140 名
 児童・生徒の年齢 12 歳～ 15 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

大牟田市立勝立中学校

1 本校の ESD の特徴

「・・・この地域には、よそには見られない、誇れるものがあります。(中略) また、何かお手伝いできることがあればお申し付けください。・・・」【資料1】これは、本校の総合的な学習の時間に来られた、外部講師の先生からいただいた手紙の一部である。生徒たちは毎日通っている地域の自然や文化や歴史について、十分に理解しているとはいえない。また、地域の良さを伝えるために活動しておられる方々の存在も知らないことが多い。

そこで、本校ではとは、自分たちが住む地域を知り、地域を好きになり、そして、誇りを持てるようになることであると考えた。「地域に根ざした」総合的な学習の時間を展開していきたい。

2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

本校では、

ESDの目標

学校教育全体を通して、人格の発達や、自立心、判断力、責任感などの人間性を育むと共に、他人との関係性、社会との関係性、自然環境との関係性を認識、「かかわり」「つながり」を尊重できる生徒を育成する。

のもと

- 1年生 「地域学習」「進路(職業調べ)」「情報」
 - 2年生 「職場体験(進路)」「日本の伝統文化(修学旅行)」
 - 3年生 「進路学習(進路決定)」「福祉体験(保育実習)」「情報」
- をおこなっている。

3 特徴的な活動事例の紹介

第1学年 総合的な学習の時間 「地域のよかところ探し」

「地域に根ざした総合的な学習の時間」では、

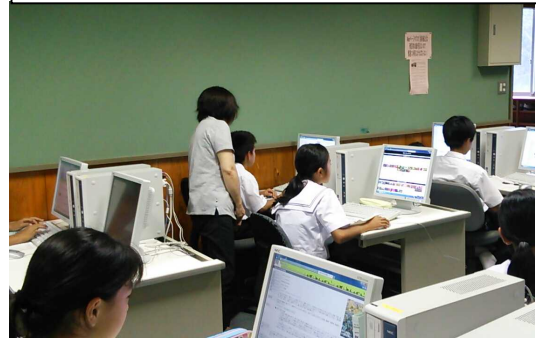
- ・地域の人、もの、ことを積極的に活用する
 - ・総合的な学習の時間の目標である課題追求的な学習をおこなう
- そのために以下の三点を目標とした。

- 地域の自然、歴史、文化に関心を持ち、地域の課題を自分の課題として考えることができる。(他者や社会との関わりに関すること)
- 自分の課題について、計画をたて、客観的事実に基づいて解決するために図書室やコンピュータを使って調べることができる(学習方法に関すること)
- 調べたり考えたりしたことを、整理し、吟味し、発表することができる(自分自身に関すること)

「課題の設定」の段階では、「勝立地区の自然と歴史探訪」



「情報の収集」の段階では、図書やインターネット等をつかったの調べ学習



「整理・分析」の段階では、外部講師を招いて、各自のテーマや課題解決の見返し、調べたこと、聞き取ったことを整理しまとめる。



「まとめ・表現」の段階では、パワーポイントによる、4コマプレゼンテーションの作成



4 本年度の成果と課題

○成果

a. 総合的学習の時間において、「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」の各段階で、体験学習を設定することは、生徒の学習活動を活発にする。

b. 総合的学習の時間において、「地域学習」を取り入れ、地域の人・もの・こと とのかかわりを持つことは、ESDの視点である現代社会の課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組むことにつながる。

○課題

今回の実践を通して次の3点が課題として見えてきた。

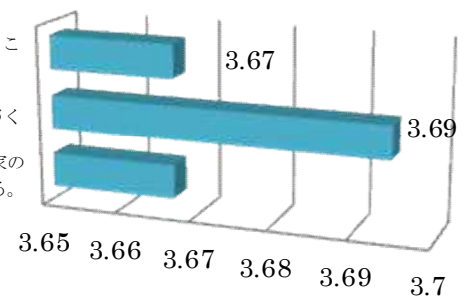
- 1年地域学習を3年間の「総合的な学習の時間」に系統性を持たせることが必要である。
- 「総合的な学習の時間」と道徳、特別活動、教科との連携を図りながら、学習計画を作成することが必要である。
- 自らの課題と地域や社会の問題の関連を図るような、実体験を増やすことが必要である。

授業後の生徒のアンケートから

・学校はいろいろな方々に、支援されていることを知る

・自分たちの住む地域の良さに気づく

・自分が調べているテーマについて、専門家の外部講師の話聞き、今後の学習につなげる。



(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）